



コミュニティ・スクール基本理念

一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成

川崎小学校 めざす学校像

ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

NO.23 令和7年2月7日 文責 校長

学校評価アンケートの集約結果をご報告します

昨年12月に、児童、保護者の方、地域の方、教職員を対象に今年度の川崎小学校の教育活動に関するアンケートを実施しました。ご多用の中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集約結果と分析についてご報告します。

児童アンケート



【表の見方について】

- それぞれの項目で、「A そう思う」「B おおむねそう思う」「C あまりそう思わない」「D 思わない」の4つから選択するアンケートでした。
- 昨年度と比較して、肯定的評価の前年度との比較を矢印であらわしました。↑:5%以上上昇、→:5%以上下降、↓:5%~5%

全27項目のうち、肯定的回答(A評価かB評価を選択した回答)が90%以上となったのは12項目でした。昨年度より大きく下降した項目はありませんでした。

昨年度より大きく向上したのは2項目で「平日の家での勉強時間について」は8.2%上昇しました。「フレンドリークラブは楽しいですか」については5.0%上昇しました。

「自分によいところがある」肯定的評価は、7割台で昨年度より微減。一方A評価は3割台です。自己肯定感を高められるような声かけ、友達同士の認め合い活動を引き続き行います。

学習面では、「学校の授業がよくわかる」の肯定的回答は91.4%で微増、A評価、B評価はともに4割台であり、1割弱が否定的回答となっています。「わからない時にわからないといえる」学級づくりや学習環境づくりを引き続き行ってまいります。

生活面では、「いじめはいけない」の設問に対しては、肯定的回答の中でも一番高い数値を示しました。「学校へ行くのが楽しい」が9割台で微増。どの項目にも否定的回答が一定数見られることをしっかりと受け止め、個々の子どもの状況や思いをくみ取りながら教育活動を進めてまいります。

2024年度 児童									
番号	設問	割合						前年度との比較	
		A	B	C	D	肯定的(A+B)	否定的(C+D)		
1	毎日おなじくらいの時刻に寝ている・だいたい寝ている・あまり寝ていない・寝ていない	30.5%	52.7%	13.1%	3.7%	83.2%	16.8%	→	-2.7%
2	平日、家での勉強は90分以上・60~89分・30~59分・30分未満	31.9%	37.3%	17.7%	13.1%	69.2%	30.8%	↑	8.2%
3	平日テレビを見たりゲームをしたりする時間は1時間以内・2時間以内・3時間以内・3時間を超える	22.8%	28.9%	20.5%	27.7%	51.7%	48.3%	→	-1.8%
4	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている・決めていない	60.4%	0.0%	0.0%	39.6%	60.4%	39.6%	→	2.4%
5	朝ごはんは毎日たべる・だいたいたべる・あまりたべない・たべない	77.9%	16.1%	4.0%	2.1%	93.9%	6.1%	→	1.2%
6	学校に行くのはたのしい・まあまあたのしい・あまりたのしくない・たのしくない	51.3%	40.3%	4.4%	4.0%	91.6%	8.4%	→	1.0%
7	学校の行事はたのしい・まあまあたのしい・あまりたのしくない・たのしくない	63.4%	31.7%	3.0%	1.9%	95.1%	4.9%	→	-0.2%
8	フレンドリークラブは(4年生以上が答える)たのしい・まあまあたのしい・あまりたのしくない・たのしくない	68.2%	27.2%	3.2%	1.4%	95.4%	4.6%	↑	5.0%
9	登下校や学校の中であいさつができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	49.7%	38.5%	10.7%	1.2%	88.1%	11.9%	→	1.5%
10	正しい言葉づかいができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	40.6%	44.8%	12.4%	2.3%	85.3%	14.7%	→	-2.0%
11	掃除や当番や係の仕事がきちんとできた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	62.5%	33.3%	2.8%	1.4%	95.8%	4.2%	→	1.7%
12	自分にはよいところがあると思う・まあまあ思う・あまり思わない・思わない	37.5%	40.6%	13.3%	8.6%	78.1%	21.9%	→	-0.8%
13	お家の人や先生、友達とはあなたとよいところを認めてくれていると思う・まあまあ思う・あまり思わない・思わない	50.6%	36.4%	9.3%	3.7%	86.9%	13.1%	→	-0.4%
14	人が困っているときは、進んで助けることができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	42.4%	44.8%	10.0%	2.8%	87.2%	12.8%	→	0.6%
15	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う・まあまあ思う・あまり思わない・思わない	86.0%	11.2%	1.4%	1.4%	97.2%	2.8%	→	0.5%
16	地域の行事に参加している・だいたい参加している・あまり参加していない・参加していない	28.4%	33.3%	20.0%	18.2%	61.8%	38.2%	→	1.4%
17	地域のボランティア活動として、清掃奉仕やまつりや集いは参加している・だいたい参加している・あまりしていない・していない	30.1%	28.9%	21.9%	19.1%	59.0%	41.0%	→	-1.8%
18	将来地域のために役立つ人になりたい(3年生以上が答える)と思う・どちらかというと思う・どちらかといえば思わない・思わない	34.0%	45.5%	16.0%	4.5%	79.5%	20.5%	→	2.0%
19	学校の授業はわかる・だいたいわかる・あまりわからない・わからない	43.4%	48.0%	6.8%	1.9%	91.4%	8.6%	→	1.5%
20	校外の人やモノに出会う勉強はたのしい・まあまあたのしい・あまりたのしくない・たのしくない	64.8%	29.6%	4.0%	1.6%	94.4%	5.6%	→	-0.7%
21	分からないときに「分からない」といえる・だいたいいえる・あまりいえない・いえない	42.2%	35.4%	15.6%	6.5%	77.6%	22.1%	→	-0.1%
22	自分の考えをしっかりと伝えることができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	38.5%	42.2%	16.1%	3.3%	80.7%	19.3%	→	3.4%
23	先生や友だちの話をしっかりと聞くことができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	55.5%	38.2%	4.2%	2.1%	93.7%	6.3%	→	-1.4%
24	自分の意見や考えをしっかりと書くことができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	56.2%	35.4%	6.1%	2.3%	91.6%	8.4%	→	3.8%
25	川崎小学校十か条を守って生活することができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	38.5%	50.8%	8.4%	3.3%	89.3%	11.7%	→	1.2%
26	体育や学校行事で体をしっかりと動かすことができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	65.0%	27.0%	6.5%	1.4%	92.1%	7.9%	→	1.5%
27	勉強のときに、タブレットをうまく使うことができた・だいたいできた・あまりできなかった・できなかった	69.5%	24.7%	4.9%	0.9%	94.2%	5.8%	→	-2.1%

保護者アンケート



ご多用の中、ご回答いただきありがとうございました。保護者数 331 に対し、対象回答数は 199 (60.1%) でした。今年度も、QR コードの書かれた紙を配布し、情報端末による回答または紙による回答をお願いしました。次年度は回答数が向上するよう、工夫をしてみたいです。

【表の見方について】

- それぞれの項目で、「A そう思う」「B おおむねそう思う」「C あまりそう思わない」「D 思わない」の4つから選択するアンケートでした。
- 昨年度と比較して、肯定的評価の前年度との比較を矢印であらわしました。
- ↑:5%以上上昇、→:5%以上下降、→:-5%~5%

15項目中10項目において、肯定的回答が90%以上でした。一方で15項目すべてにおいて、肯定的評価が下がっています。

児童からの肯定的回答が一番高かったいじめに関する項目は、昨年度の結果と比べ、児童とは逆の-7.2%でした。今後も、仲間づくりや友達関係の状況に注視し、丁寧な指導をしてみたいです。

『「書く力・読む力・読み取る力」の定着に向けた学習活動の充実』については、昨年度に比べ、肯定的評価の下落が大きく-6.3%でした。学習面での学校、学級でのさらなる取組が期待されることがうかがえました。授業づくり研修会を継続させ、すべての教科学習において、「書く力・読む力・読み取る力」を高めるような授業改善や学習活動の工夫等、教師の力量アップに引き続き努めてまいります。

【保護者自由記述より】

行事の多さ、運動会の開催方法、授業づくり、いじめや児童間のトラブル、保護者への行事の連絡の仕方、学力向上など多岐にわたってご意見をいただきました。各ご家庭の生活スタイル等も多様化していく中で、学校も多様化と変革が求められていることを感じました。

また、学校や教職員に対しての温かいねぎらいの言葉を書itekudassatta方や教職員の働き方改革についても具体例を出していただける方もみえました。感謝申し上げます。いずれも今後の学校運営において貴重なご意見として受け止めさせていただきます。ありがとうございました。

2024年度 保護者									
番号	設問	割合						前年度との比較	
		A	B	C	D	肯定的 (A+B)	否定的 (C+D)		
1	学校は、各学年における地域学習や体験活動、フレンドリークラブ、フレンドリー農園での作物づくりや地域行事への参加、川崎ふれあいフェスタ等を通して地域とともにある学校づくりに努めている。	75.4%	21.6%	1.5%	0.5%	97.0%	2.0%	→	-1.5%
2	学校は、地域との協働で、地域の歴史・文化・人材を活用した学習を行い、子どもたちの地域参画や地域への関心を高めることに努めている。	64.8%	32.7%	1.5%	0.0%	97.5%	1.5%	→	-1.0%
3	学校は、地域・保護者と連携した交通安全指導や交通安全教室等の開催、避難訓練や防犯訓練等の実施により危機管理の向上に努めている。	64.8%	31.7%	2.0%	0.5%	96.5%	2.5%	→	-0.8%
4	学校は、学校行事（運動会、竹馬チャレンジ、川崎ふれあいフェスタ等）や授業を公開する機会を設けたり、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ更新やメール配信等により、学校の情報を積極的に発信するように努めている。	68.8%	28.1%	1.5%	0.5%	97.0%	2.0%	→	-1.1%
5	学校は、地域・保護者の協力を得ながら、学校環境の整備に努めている。	60.8%	35.7%	2.5%	0.0%	96.5%	2.5%	→	-2.0%
6	学校は、一人ひとりにあったきめ細かい支援や、いじめを見逃さない居心地のよい学校（学級）づくりに努めている。	23.6%	55.8%	17.1%	2.5%	79.4%	19.6%	↓	-7.2%
7	学校は、川崎小学校十か条（あいさつ、時間を守る、学校をきれいにする等）に基づいて生徒指導を行い、より良い生活態度の育成や仲間づくりに努めている。	33.2%	54.8%	9.5%	1.5%	87.9%	11.1%	→	-4.0%
8	学校は、学級・学年の自治的な活動や道徳・人権教育、福祉体験活動、花壇づくりや合唱等を通して、子どもたちに、確かな人権感覚と豊かな情操を育むとともに、児童の自己肯定感の向上に努めている。	33.2%	58.8%	6.5%	0.5%	92.0%	7.0%	→	-1.2%
9	学校は、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染の予防、感染防止をはじめ、健康・食育・睡眠に関する指導や、ホームページ・たより等による保護者啓発を通して、健康教育、食育等の充実と生活習慣の向上に努めている。	41.7%	50.3%	7.0%	0.0%	92.0%	7.0%	→	-3.1%
10	学校は、運動会、竹馬チャレンジ、なわとび週間や外部講師による指導を通して、体力の向上に努めている。	45.7%	48.2%	4.5%	0.5%	94.0%	5.0%	→	-1.8%
11	学校は、「めあて」と「ふり返し」を大切にしながら、児童が主体的に取り組むことができる授業や、友達の話の聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。	37.2%	55.8%	4.5%	1.5%	93.0%	6.0%	→	-1.3%
12	学校は、「書く力」「読む力」「読み取る力」の定着を目指した学習活動の充実を努めている。	29.6%	52.3%	15.6%	1.5%	81.9%	17.1%	↓	-6.3%
13	学校は、家庭学習の手引き・自主学習の手引きの発行や学力調査の結果を公表するなどして、望ましい学習習慣（家庭学習、読書等）の定着に努めている。	32.2%	55.3%	11.6%	0.0%	87.4%	11.6%	→	-3.0%
14	学校は、補充学習（ぐんぐんタイム・サマースクール・学期ごとの補充学習）や、読書活動等を行い、基礎学力の定着に努めている。	34.7%	53.3%	10.6%	0.5%	87.9%	11.1%	→	-2.1%
15	学校は、1人1台端末を日常的で効果的に活用した授業づくりや、児童のICT活用能力の育成に努めている。	39.2%	51.3%	6.5%	1.5%	90.5%	8.0%	→	-1.5%

地域アンケート



ご多用の中、ご回答いただきありがとうございました。対象回答数は 50 でした。今年度も、QR コードの書かれた紙を配布し、情報端末による回答または紙による回答をお願いしました。

- 【表の見方について】
- それぞれの項目で、「A そう思う」「B おおむねそう思う」「C あまりそう思わない」「D 思わない」の4つから選択するアンケートでした。
 - 昨年度と比較して、肯定的評価の前年度との比較を矢印であらわしました。
 - ↑:5%以上上昇、→:5%以上下降、→:-5%~5%

【地域アンケートから】

15項目のうち肯定的回答90%以上は7項目（昨年度は6項目）でした。その中でも特に、「地域とともにある学校づくり」や「学校情報の発信」に関しては、高い評価をいただきました。

また、「学校は、1人1台端末を日常的で効果的に活用した授業づくりや、児童の ICT 活用能力の育成に努めている。」肯定的評価は+7.0 でした。新型コロナウイルスが収束して2年目となり、地域の皆様方のご指導の下進めてきた地域学習等や ICT による学習が軌道に乗ってきたからではないかと分析しております。引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

一方で、「学校は、地域との協働で、地域の歴史・文化・人材を活用した学習を行い、子どもたちの地域参画や地域への関心を高めることに努めている。」の肯定的評価は-9.9%。

「学校は、一人ひとりにあったきめ細かい支援や、いじめを見逃さない居心地のよい学校（学級）づくりに努めている。」の肯定的評価は-5.2%でした。

「学校は、「めあて」と「ふり返し」を大切にしながら、児童が主体的に取り組むことができる授業や、友達の話の聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。」の肯定的評価は-7.0%でした。

今後も、開かれた学校づくりを意識して、学校での授業や活動の様子が保護者はもちろん、地域の方々にも伝わるよう、学校情報の積極的発信や学校公開の機会確保に引き続き努めていきたいと考えております。

2024年度 地域									
設問	割合						前年度との比較		
	A	B	C	D	肯定的 (A+B)	否定的 (C+D)			
学校は、各学年における地域学習や体験活動、フレンドリークラブ、フレンドリー農園での作物づくりや地域行事への参加、川崎ふれあいフェスタ等を通して地域とともにある学校づくりに努めている。	60.0%	36.0%	2.0%	2.0%	96.0%	4.0%	→	-1.9%	
学校は、地域との協働で、地域の歴史・文化・人材を活用した学習を行い、子どもたちの地域参画や地域への関心を高めることに努めている。	54.0%	34.0%	8.0%	2.0%	88.0%	10.0%	↓	-9.9%	
学校は、地域・保護者と連携した交通安全指導や交通安全教室等の開催、避難訓練や防犯訓練等の実施により危機管理の向上に努めている。	50.0%	42.0%	4.0%	2.0%	92.0%	6.0%	→	-3.7%	
学校は、学校行事（運動会、竹馬チャレンジ、川崎ふれあいフェスタ等）や授業を公開する機会を設けたり、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ更新やメール配信等により、学校の情報を積極的に発信するように努めている。	68.0%	26.0%	4.0%	2.0%	94.0%	6.0%	→	-3.9%	
学校は、地域・保護者の協力を得ながら、学校環境の整備に努めている。	38.0%	54.0%	6.0%	2.0%	92.0%	8.0%	→	-1.6%	
学校は、一人ひとりにあったきめ細かい支援や、いじめを見逃さない居心地のよい学校（学級）づくりに努めている。	20.0%	62.0%	12.0%	0.0%	82.0%	12.0%	↓	-5.2%	
学校は、川崎小学校十か条（あいさつ、時間を守る、学校をきれいにする等）に基づいて生徒指導を行い、より良い生活態度の育成や仲間づくりに努めている。	32.0%	54.0%	10.0%	0.0%	86.0%	10.0%	→	-3.4%	
学校は、学級・学年の自治的な活動や道徳・人権教育、福祉体験活動、花壇づくりや合唱等を通して、子どもたちに、確かな人権感覚と豊かな情操を育むとともに、児童の自己肯定感の向上に努めている。	30.0%	56.0%	4.0%	2.0%	86.0%	6.0%	→	0.9%	
学校は、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染の予防、感染防止をはじめ、健康・食育・睡眠に関する指導や、ホームページ・たより等による保護者啓発を通して、健康教育、食育等の充実と生活習慣の向上に努めている。	38.0%	52.0%	4.0%	0.0%	90.0%	4.0%	→	0.6%	
学校は、運動会、竹馬チャレンジ、なわとび週間や外部講師による指導を通して、体力の向上に努めている。	52.0%	42.0%	2.0%	0.0%	94.0%	2.0%	→	2.5%	
学校は、「めあて」と「ふり返り」を大切にしながら、児童が主体的に取り組むことができる授業や、友達の話の聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。	26.0%	50.0%	16.0%	0.0%	76.0%	16.0%	↓	-7.0%	
学校は、「書く力」「読む力」「読み取る力」の定着を目指した学習活動の充実と努めている。	26.0%	52.0%	16.0%	0.0%	78.0%	16.0%	→	-2.9%	
学校は、家庭学習の手引き・自主学習の手引きの発行や学力調査の結果を公表するなどして、望ましい学習習慣（家庭学習、読書等）の定着に努めている。	32.0%	50.0%	12.0%	0.0%	82.0%	12.0%	→	-1.0%	
学校は、補充学習（くぐんタイム・サマースクール・学期ごとの補充学習）や、読書活動等を行い、基礎学力の定着に努めている。	22.0%	62.0%	10.0%	0.0%	84.0%	10.0%	→	1.0%	
学校は、1人1台端末を日常的で効果的に活用した授業づくりや、児童のICT活用能力の育成に努めている。	30.0%	60.0%	4.0%	0.0%	90.0%	4.0%	↑	7.0%	

教職員アンケート

【表の見方について】

- それぞれの項目で、「A そう思う」「B おおむねそう思う」「C あまりそう思わない」「D 思わない」の4つから選択するアンケートでした。
- 昨年度と比較して、肯定的評価の前年度との比較を矢印であらわしました。
- ↑:5%以上上昇、→:5%以上下降、→:-5%~5%

【教職員アンケートから】

20項目のうち19項目で肯定的回答が90%以上でした。

全体的に、肯定的回答は多いのですが、否定的な評価のあるのも事実です。

「学校は、一人ひとりにあったきめ細かい支援や、いじめを見逃さない居心地のよい学校(学級)づくりに努めている。」肯定的評価-4.3%。

「学校は、学級・学年の自治的な活動や道徳・人権教育、福祉体験活動、花壇づくりや合唱等を通して、子どもたちの確かな人権感覚と豊かな情操を育むとともに、児童の自己肯定感の向上に努めている。」肯定的評価-4.3%。

以上の結果から、きめ細かい指導や自己肯定感を育む教育、人権教育を教職員自身が自信をもって推し進める必要を感じました。

また、「めあてとふりかえりを大切にした授業づくり」「読む力・書く力の育成」「補充学習・基礎学力の充実」「読書活動の充実と読書週間の定着」の項目についても、肯定的評価-4.3%でした。学力については、昨年9月の学校だよりでお伝えしたとおり、6年生の全国学力・学習状況調査や、4・5年生のみえ・スタディチェックの結果から、本校の大きな課題としてとらえています。現在も定期的に行っている授業研究会や授業スキルアップの研修などに引き続き取り組み、子どもたちのわかった、できたを大切に授業を進めてまいります。

最後に、「総勤務時間の縮減」に対する教職員A評価は2弱で肯定的評価は-6.3%でした。みなさんご承知の通り、全国的な教職員を取り巻く状況は多忙です。本校における教職員も同様です。日々の授業準備に加え、各種分掌業務処理、学級でのトラブルやいじめ等への対応には相当の時間を要しているのが現状です。教職員の適正な働き方への意識をさらに高め、具体的な改善に向けて、学校関係者の皆様にご協力をいただきながら、改善を進めてまいります。



2024年度教職員									
番号	設問	割合						前年度との比較	
		A	B	C	D	肯定的(A+B)	否定的(C+D)		
1	学校は、各学年における地域学習や体験活動、フ렌ドリー農園での作物づくりや収穫祭への参加、川崎ふれあいフェスタ等を通して地域とともにある学校づくりに努めている。	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→	3.4%
2	学校は、地域との協働で、地域の歴史・文化・人材を活用した学習を行い、子どもたちの地域参画や地域への関心を高めることに努めている。	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-0.9%
3	学校は、地域・保護者と連携した交通安全指導や交通安全教室等の開催、防災訓練や避難訓練等の実施により危機管理の向上に努めている。	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→	0.0%
4	学校は、学校行事(運動会、竹馬チャレンジ、川崎ふれあいフェスタ等)を公開する機会を設けたり、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ更新やメール配信等により、学校の情報を積極的に発信するように努めている。	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→	0.0%
5	学校は、地域・保護者の協力を得ながら、学校環境の整備に努めている。	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→	0.0%
6	学校は、一人ひとりにあったきめ細かい支援や、いじめを見逃さない居心地のよい学校(学級)づくりに努めている。	60.9%	34.8%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-4.3%
7	学校は、川崎小学校十か条(あいさつ、時間を守る、学校をきれいにする等)に基いて生徒指導を行い、より良い生活態度の育成や、仲間づくりに努めている。	60.9%	34.8%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	2.5%
8	学校は、学級・学年の自治的な活動や道徳・人権教育、福祉体験活動、花壇づくりや合唱等を通して、子どもたちの確かな人権感覚と豊かな情操を育むとともに、児童の自己肯定感の向上に努めている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-4.3%
9	学校は、新型コロナウイルス感染防止をはじめ、健康・食育・睡眠に関する指導や、ホームページ・たより等による保護者啓発を通して、健康教育、食育等の充実と生活習慣の向上に努めている。	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→	0.0%
10	学校は、運動会、竹馬チャレンジ、なわとび集会や外部講師による指導を通して、体力の向上に努めている。	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-0.9%
11	学校は、「めあて」と「ふりかえり」を大切にしながら、児童が主体的に取り組むことのできる授業や、友達の話の聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。	69.6%	26.1%	0.0%	4.3%	95.7%	4.3%	→	-4.3%
12	学校は、「書く力」「読む・読み取る力」の育成を目指して、亀山市国語確認テストの活用等、学習活動の充実と努めている。	52.2%	43.5%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-4.3%
13	学校は、家庭学習の手引き・自主学習の手引きの発行や学力調査の結果を公表するなど、望ましい家庭学習の習慣化に努めている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-0.9%
14	学校は、補充学習(くんでんタイム・サマースクール・学期ごとの補充学習)を行い、基礎学力の定着に努めている。	65.2%	30.4%	0.0%	4.3%	95.7%	4.3%	→	-4.3%
15	学校は、読書活動の充実と読書習慣の定着に努めている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-4.3%
16	学校は、1人1台端末を日常的に効果的に活用した授業づくりや、児童のICT活用能力の育成に努めている。	69.6%	30.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→	0.0%
17	総勤務時間の縮減、教職員の過重労働による健康障害防止に努めている。(安全衛生委員会・定時退校・年休取得・学校ボランティア募集等)	17.4%	52.2%	26.1%	4.3%	69.6%	30.4%	↓	-6.3%
18	「明るく、仲良く、元氣よく」校務に取り組む職場風土をつくらせている。 (校務の分担・仕事内容の分かち合い・職場内厚生事業など)	52.2%	43.5%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-0.9%
19	教職員が互いに学び合える研修を推進している。(日常業務におけるOJT・自主研修交流の推進など)	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-4.3%
20	法令順守の意識の向上、ハラスメントの防止に努めている。(声かけによる未然防止・危機管理マニュアル学習会・相談窓口設置など)	52.2%	43.5%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	→	-4.3%